

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	給食センター		
	係名	庶務係		
	記入者		電話(内線)	32-1010

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	<b>継続</b>	(2) 事務事業 の名称	学校給食運営管理事業	(3) 事業の 優先度	<b>A</b>
(4) 総合計画での位置づけ		(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	<b>主要事業</b>	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	41205 (総合計画掲載 <sup>ハ</sup> - <sup>ジ</sup> 116 <sup>ハ</sup> - <sup>ジ</sup> )	会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)	財源区分	市単独		
基本施策	4-1生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)	予算科目	款 10	項 6	目 3
施策	②安心して学べる学校づくりの推進	予算書上の 事業名称	学校給食センター運営管理経費		
施策内容	5安全で安心な給食の安定的な供給		(予算書 185 <sup>ハ</sup> - <sup>ジ</sup> に掲載)		
(5) 事業期間	開始 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </span> 年 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </span> 月から	(8) 事務分類		自治事務	
	終了 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </span> 年 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </span> 月まで ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </span> 力年)	根拠法令	学校給食法		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	市内小中学校, 児童・生徒・教職員	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)	学校における教育の一環として, 安全安心な給食を安定的に供給することにより, 児童・生徒の心身の健全な発達に寄与する。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を提供するため, 安全で新鮮な食材の確保, 衛生管理の徹底を図る。</li> <li>・安定した給食提供のために, 諸設備の保守点検と計画的な修繕, 効率的な運用を図る。</li> </ul> H28.29 食器交換 H28.蒸気発生装置交換	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境, 市民ニーズ等) や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応			
安全な食に対する意識は非常に高まっており, 児童生徒の食する給食に関する信頼を維持することは最重要課題であるため, 諸設備の管理更新, 衛生管理の更なる充実を図っていく必要がある。			

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映	
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)	
	27 年度	28 年度	29 年度    30 年度    31 年度	
事業内容	27 年度	28 年度	29 年度    30 年度    31 年度	
(1) 事務事業費	報酬費・旅費	472	87	
	需用費	266,682	261,596	
	役務費	1,201	1,263	
	委託料	88,494	92,649	
	使用料及び賃借料	15	15	
	工事請負費	6,188	3,850	
	備品購入費	873	490	
	負担金及び交付金・公課費	156	161	
	合計	364,081	360,111	
財源	国庫支出金 (千円)			
	県支出金 (千円)	388	384	
	地方債 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	220,606	220,647	
	一般財源 (千円)	143,087	139,080	
	合計 (千円)	364,081	360,111	
補助・起債制度名	消費者行政推進交付金事業費補助金	消費者行政推進交付金事業費補助金		

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名	給食実施日数	目標値	日		199	199	199
		実績(見込)値		195	199		
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
		達成率		%	%		
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
		達成率		%	%		

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

安定した給食提供のための保守点検による修繕指摘箇所について、予算を確保した。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価			理由
必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	義務的事业である
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となるべき事業である
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	現在の方法が一般的である
効率性	コスト効率 人員効率	B どちらとも言えない	主に修繕によるコスト増が見受けられる
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	広く便益を提供している
有効性	成果の向上	B どちらとも言えない	水準に達している
進捗度	事業の進捗	A 順調である	順調に執行されている

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

安全安心な学校給食の安定した提供を図るために、調理委託、運搬委託、設備の定期点検、衛生管理等、引き続き必要な措置を講じていく。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

経年劣化による器具・機械の破損や食器、設備等の適切な更新を図るため、修繕計画の下で管理していく。

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	将来を担う児童・生徒の健全育成に欠かせない事業であり、より一層の安全・安心な学校給食の提供を図るとともに、施設整備の充実や光熱水費の削減を図る。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。